

みなかみ議会だより

群馬DC開始間近!

デスティネーション
キャンペーン

●写真/ SL D51498号



群馬デスティネーションキャンペーン
2011.7/1▶9/30

震災復興へ向け 前へ! 前へ!!



3月定例議会	
平成23年度当初予算	2
平成22年度補正予算	4
一般会計・特別会計	
町政を問う	6人
一般質問	6人
1月臨時議会	5
東日本大震災復興支援活動	6

23号

平成23年(2011年)
5月1日発行

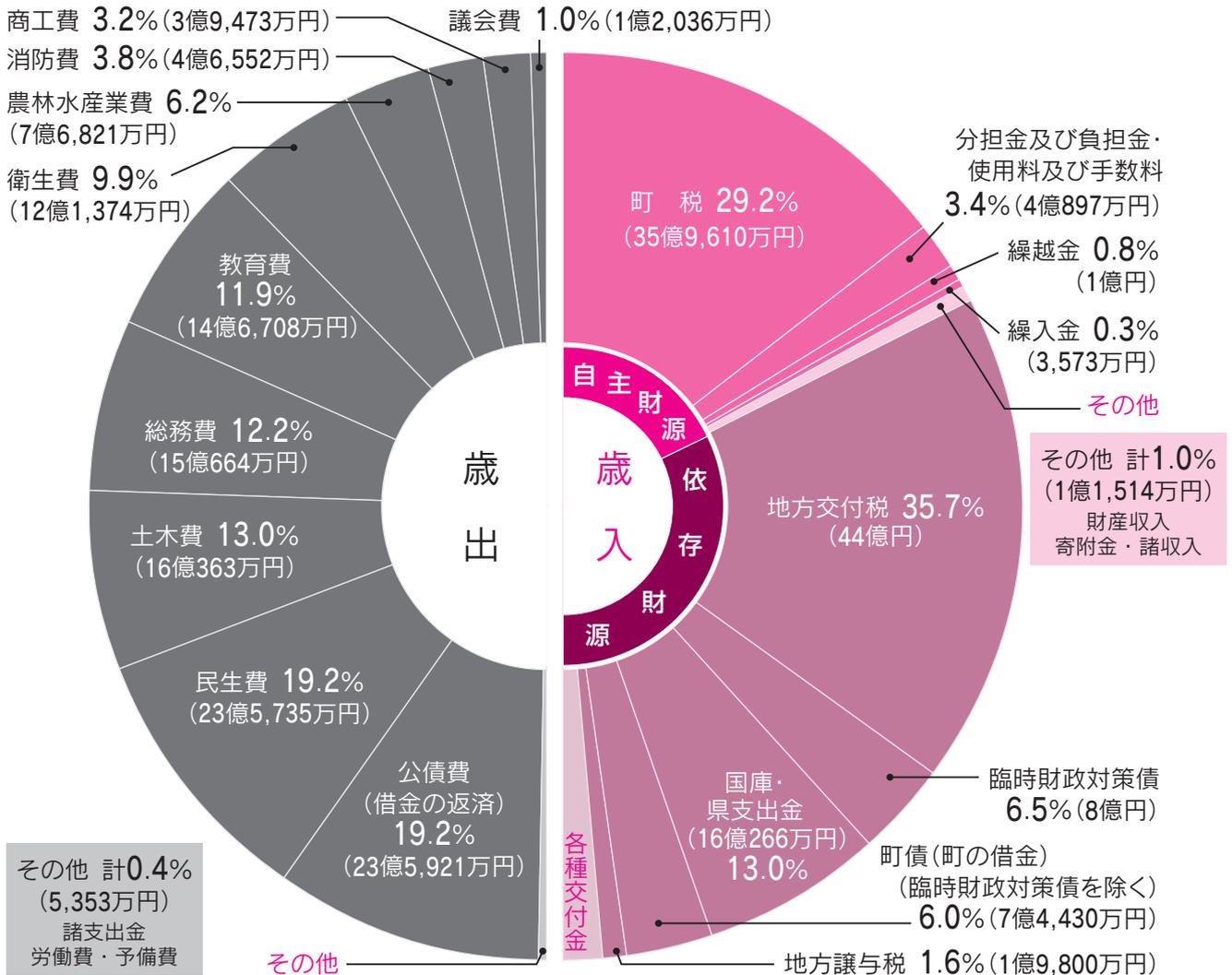
予算 決まる

3月定例議会

2日から10日の9日間の会期で開催されました。
専決処分1件、23年度一般会計・特別会計当初予算10件、22年度補正予算8件、条例制定・改廃21件、工事請負契約1件、その他1件が提出され、審議の結果、すべての議案を原案通り可決しました。
6人の議員が、『行政サービス』『町の活性化』『鳥獣害対策』等について、一般質問しました。

一般会計 / 総額 123.1億円

※四捨五入のため、合計と一致しない場合があります。



各種交付金 計2.5% (3億910万円) 利子割交付金・地方消費税交付金・自動車取得税交付金・株式等譲渡所得割交付金
配当割交付金・ゴルフ場利用税交付金・地方特例交付金・交通安全対策特別交付金

当初予算討論

◇一般会計

反対

島崎栄一議員

談合を摘発され、他の自治体で指名停止になっている業者を、見直しもせずにそのまま使い続けるような予算には賛成できません。

賛成

前田善成議員

地場産業振興基金は、町の業者が新産業や分野に進出するために、町が支援できる基金であり、夢のあるまちづくりを目指す町を内外に示す予算だといえます。

反対

原澤良輝議員

地場産業振興基金の積立・対策事業一千万円や、企画調査研究費一〇〇万円など、事業内容が未定の事業も計上されています。住宅リフォームなど、町民や地元業者の仕事おこしに活用することを求めて反対します。
(賛成一五 反対二可決)

平成23年度当初

新エネルギー事業

- ◆小水力発電の推進
- ◆電気自動車の充電器を町内4ヶ所に設置

特別会計

区分	金額	区分	金額	
国民健康保険	28億5,900万円	自家用有償バス事業	660万円	
後期高齢者医療	2億3,900万円	温泉事業	3,700万円	
介護保険	18億8,700万円	水道事業	収益的収入	4億4,600万円
下水道事業	9億9,200万円		収益的支出	4億4,200万円
利根沼田広域観光センター	820万円		資本的収入	1億3,480万円
スキー場事業	1,400万円		資本的支出	2億3,720万円

◇国民健康保険特別会計

反対 原澤良輝議員

国保会計が赤字になっているにもかかわらず、保険税の値下げをしないので反対します。

賛成 林一彦議員

本会計は加入者の皆さんが安心して医療が受けられるためのものであり、必要な予算です。

(賛成一五 反対二 可決)

◇後期高齢者医療特別会計

反対 原澤良輝議員

年齢による区別がある本制度を直ちに廃止し、国民皆保険制度の確立を求めます。

賛成 中島信義議員

国会での新たな制度が設立するまで、現行制度が維持される広域連合への負担金であるため、必要な予算です。

(賛成一六 反対一 可決)

◇介護保険特別会計

反対 原澤良輝議員

介護該当者が費用の心配をしなくても介護が受けられる制度に改善すべきです。

賛成 小林洋議員

高齢者の皆さんがいつまでも元気で暮らしている介護予防事業予算です。

(賛成一六 反対一 可決)

◇下水道事業特別会計

反対 原澤良輝議員

思い切った起債返済計画を実施し、安定した下水道会計としての運営が必要です。

賛成 内海敏久議員

施設の老朽化が進む中、コストを最小化させるための下水道長寿命化計画策定委託の予算が計上されています。

(賛成一六 反対一 可決)

◇水道事業会計

反対 島崎栄一議員

水道組合からの編入時、加入金を取るので反対です。

賛成 内海敏久議員

経営の透明化、健全化を進め、老朽化した設備の整備を促進するための予算です。

反対 原澤良輝議員

本会計は、企業会計としての運営には無理があります。

(賛成一五 反対二 可決)

- ◇利根沼田広域観光センター特別会計
- ◇スキー場事業特別会計
- ◇自家用有償バス事業特別会計
- ◇温泉事業特別会計 (全会一致可決)

昆虫・植物の採取制限

環境保護活動 条例化

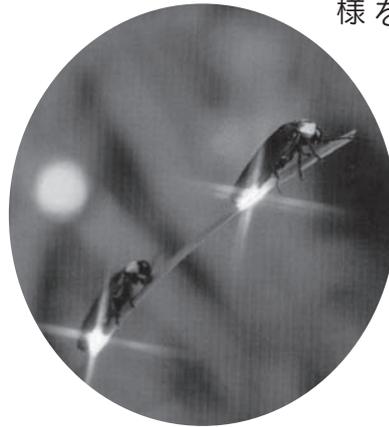
地域住民・保護団体・町の協議によって指定される地域内の動植物の採取を制限することで、自然環境や生物多様性の保護活動を支援します。



野焼き（藤原地区）



ホタルを守る会による道標設置作業



22年度補正予算（3月補正／全会一致可決）

項目	補正額	主な内容	総額	
一般会計	2,602万円	老人保護措置費(老人保護措置委託料)／▲1,699万円 子ども手当費／▲1,325万円 児童手当費／▲1,022万円 奥利根アメニティパーク維持管理基金積立金／1,000万円 防災行政無線操作卓更新工事費／▲1,800万円 水上中学校建設事業費(校庭等整備工事費)／2,500万円 土地開発公社費(工業団地造成負担金など)／1,045万円	136億1,500万円	
特別会	老人保健	191万円 一般会計繰出金／265万円	338万円	
	後期高齢者医療	962万円 後期高齢者医療広域連合納付金／243万円 一般会計繰出金／738万円	2億3,080万円	
	介護保険	▲874万円 特定高齢者把握委託料／▲615万円 通年型介護予防委託料／▲202万円	18億6,389万円	
	簡易水道事業	820万円 簡易水道総務費／820万円	2億6,968万円	
	下水道事業	▲1,108万円 流域下水道建設負担金／▲450万円 流域下水道維持管理負担金／▲550万円 浄化槽設置整備補助金／▲250万円	10億3,408万円	
	利根沼田広域観光センター	▲141万円 観光センター事業費(光熱水費など)／▲141万円	733万円	
	スキー場事業	14万円 スキー場事業費(賃金など)／14万円	1,272万円	
計	自家用有償バス事業	57万円 バス総務管理事業(修繕料)／57万円	555万円	
	水道事業	収益的収入	1,087万円 水道料金／1,100万円	2億8,858万円
		支出	▲590万円 動力費／▲555万円 水道施設保守点検委託料／▲270万円 消費税／135万円 側溝修繕費／100万円	2億2,544万円
	資本的	収入	137万円 一般会計補助金／121万円	9,692万円
		支出	▲870万円 布設替工事費(阿能川導水管など)／▲870万円	1億7,733万円

専決処分

- 町立水上中学校改築工事請負変更契約締結の専決処分報告

議案

- 町立水上中学校校舎・屋内運動場解体工事請負契約の締結
- 町道路線の廃止
- 町道路線の認定
- 町水上こども園建設基金条例の廃止
- 町教育基金条例の制定
- 町自然環境及び生物多様性を守り育てるため昆虫等の保護を推進する条例の制定
- 町地場産業振興基金条例の制定
- 町水道事業の設置等に関する条例の一部改正等
- 町課設置条例の一部改正
- 町特別会計設置条例の一部改正

- 町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正
 - 町自家用有償バス設置条例の一部改正
 - 町消防団条例の一部改正
 - 町都市計画税条例の一部改正
 - 町後期高齢者医療に関する条例の一部改正
 - 町国民健康保険条例の一部改正
 - 町小口資金融資促進条例の一部改正
 - 町観光体育施設条例の一部改正
 - 町観光会館条例の一部改正
 - 町スクールバスの設置に関する条例の一部改正
 - 町体育施設条例の一部改正
 - 町新治B&G海洋センター条例の一部改正
 - 町立学校施設使用条例の一部改正
 - 町職員の育児休業等に関する条例の一部改正
- (すべて全会一致可決)

みなさんからの 請願・陳情 審査結果一覧

No.	受理年月日	件名	提出者	付託委員会	審議結果
請願	22. 8.11 (継続審査分)	水上温泉街の活性化対策について	湯原636 湯原区長 鈴木 俊夫 他4人	産業観光	趣旨採択
	22.11.18 (継続審査分)	水上児童館に運動のできる安全な庭を造ることにする請願	谷川556 松本ひろ子 ほか賛同者25人	厚生	継続審査
	23. 2.16	「公契約条例」の制定を求める	利根沼田労働組合会議 議長 加藤 貴	産業観光	不採択
	23. 2.16	「公契約法」の制定に関する意見書の採択を求める	利根沼田労働組合会議 議長 加藤 貴	産業観光	不採択
陳情	22.11.26	たくみの里豊楽館（道の駅）に液晶ディスプレイ及びタッチパネル方式での電子案内板を設置についてのお願い	NPO法人たくみ会 理事長 伊草 幸夫	産業観光	採 択
	23. 1.25	猿ヶ京温泉の活性化に関する陳情	猿ヶ京温泉153 猿ヶ京区長 笛木 太弘 ほか2人	産業観光	採 択

議案

- 一般会計補正予算
- 水道事業会計補正予算
- 町道路線の認定

(すべて全会一致可決)

1月臨時議会

平成23年1月18日

一日も早い 被災地の復興に向けて!!

東日本大震災復興支援活動

岩手県庁・釜石市
福島県いわき市

3月19～21日
3月25日

三月十一日の東日本大震災での被災者を、町では県内でいち早く受け入れました。議会全員協議会においては、予算一億円の専決処分報告がされました。また、副議長が岩手県庁及び同県釜石市に、産業観光

常任委員長が福島県いわき市に、議会を代表し当局と支援物資を届け、被災地の関係者と支援等について協議してきました。今後、支援活動と農産物や観光産業への風評被害対策を町とともに進めていきます。



津波により壊滅的な被害を受けた(いわき市内)



現地の状況を聞く(岩手県庁)



町からの支援物資が到着した(岩手県内の避難所)

6人が質問を行いました。

主な内容

- 島崎 栄一 ①湯宿水道の加入金徴収に疑義
- 原澤 良輝 ①町内生産者の活用による活性化を
②高校生のバス通学定期代に助成を
- 高橋 市郎 ①町財政の今後の展望は
②人員削減でも行政サービスは維持できるか
- 小林 洋 ①エコツーリズム事業に対応できる組織のあり方は
- 鈴木 勲 ①駆除した害獣の処分をどうするか
②上毛高原駅前の交差点の改良を
- 前田 善成 ①害獣駆除のための仕組みづくりを
②耐震性などPRし産業誘致しては



島崎 栄一 議員



湯宿水道の町営化で 加入金徴収はおかしい

町長 条例に沿った措置と考える

問 湯宿温泉・池の原地区で、地域の水道を町営水道に編入することになりました。

そのとき、加入金を個々の家庭から徴収することは条例に明文化され

答 町長 町水道事業給水条例の第三十五条に『水道加入金』という

ことで定めており、工事費の負担を余分に負担して頂いているわけでもなく、口径に従った加入金を徴収しています。

ていません。加入金徴収は無効です。直ちに返金すべきだと思いますが。

問 新築して水道を引く人の加入金であり、編入時の条例ではありません。新築と同じ加入金徴収はおかしいと思います。

答 町長 各地区の方々が町営水道という事業体に新たに加

入するという事で負担いただいています。条例が不十分という指摘ならば、修正案を提案していただければ十分検討して分かりやすくするのも、選択肢の一つだと思います。

問 条例に基づいた徴収ではないと判断しています。メーター器だけ換えて新規扱いはおかしいと思います。

答 町長 個別にメーターが設置される

新設工事、何ら疑問の余地はありません。



組合で管理していた湯宿地区の水道が町の管轄下に置かれる
(上：湯宿上地区 下：簡易水道の設備)

原澤
良輝
議員



町内生産者を活用する 「仕事おこし」で活性化を

町長 地元の利用率増やしていきたい



間伐材も活用の可能性はある

問 デフレ経済のもとで、町民の生活は大変です。

「学校給食の農産物を地元農家が生産できるシステムをつくる」「値上がりの激しい灯油等の暖房から間伐材等を利用した暖房の試験栽培をし、環境を売りにした農産物を生産すること」「町営戸建て住宅などは地元業者が参加できるように分割発注すること」「住宅の新築や修繕に町より助成をすることなどで「仕事起こし」をすることに ついて、町の考えを聞かせて下さい。

答 **町長** 地元農産物の利用は「食育推進検討会」で検討しています。地元米の利用は五〇%を目指したい。

間伐材等を利用した暖房技術は確立していません

ん。先進的に取り組むことは検討したい。

住宅修繕等の助成は効果がはっきりしません。戸建ての町営住宅は地元の業者が参画出来るように検討します。

■高校生の通学と経済負担
バス定期代の助成を

問 バス通学定期代が、猿ヶ京く後閑駅は一ヶ月一万八四〇〇円（年間二二万円余）、他の地域でもバス定期代の負担は大変です。保護者が毎日送迎するケースもあります。

答 **町長** 機会均等の問題はわかりませんが、バスを利用しない例がカバーできないことや高校の選択は保護者と子供の意思なので、特に困窮している子供には個別に検討します。

JR定期代に比べて負担の大きいバスの定期代について、住む地域により負担が違うのは不公平なので、助成をすること
を町長にもとめます。

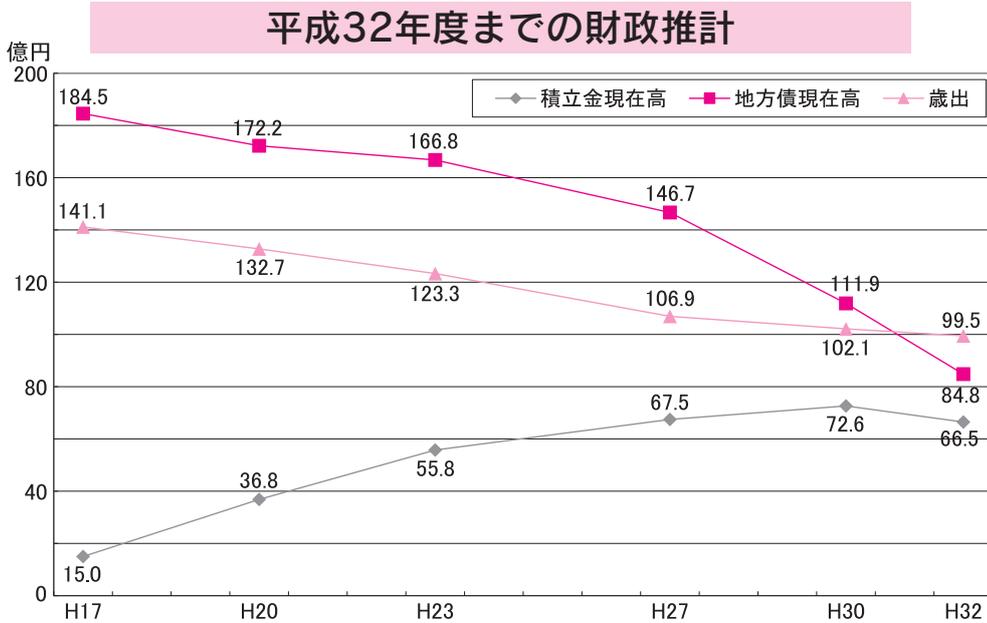
経済的に困っている家庭・子供は多くなっているとしたら、その場合、奨学金制度を利用することがよいと考えます。



高橋 市郎 議員

町予算規模一〇〇億円へ 達成の見通しを問う

町長 実質的に縮小できているが方向堅持は必要



問

本日、来年度予算度比一・七%増)が提案されました。本年度予算についても当初一二一億円から一五億円増の一三六億円となっています。

二十七年度予算規模一〇〇億円の達成、また合併特例債終了後の財政運営について伺います。

答

町長 本年度予算については、国の経済対策等四億円、地方債繰り上げ償還七億円、その他需要増で四億円、予算の実態については、一三六億円と言いな

から一二五億円の規模で運営してきています。

中長期的な視点で一〇〇億円の財政規模については、引き続き堅持していかねばなりません。

問

国民健康保険特別会計について、現状の町の財政状況において基金の残高はどの程度が適正でしょうか。また、一般会計からの繰り入れの適正な額ほどの程度でしょうか。

答

町長 「財政の基盤を安定・強化する観点から、保険者の規模等に応じて十分な基金を

積み立てること」となっています。

県の基準によると、過去三年間の支出額平均の五%を町村に示しています。当町の場合、一億六〇〇万円です。繰

り入れについては、法定内繰入金は算定根拠に基づいて算出しています

が、財源不足による支援策としての法定外繰入金は、例外的な措置であると理解しています。

■行財政改革

人員削減でもサービス維持可能か

問 行財政改革において、職員数を削減する中、町民に対してよりよいサービスは可能でしょうか。

答

町長 職員全体で、人材育成、人事評価に積極的に取り組んでいます。

町民皆様のご意見、情報をいただきながら、適切な職場が作れるように努力していきます。

小林

洋
議員



エコツーリズム事業に 行政としてどう取り組む

町長 柔軟で横断的に対応したい



谷川岳一ノ倉沢



排ガス汚染の防止などのため
多客期を中心にマイカー乗り入れが規制される

問 エコツーリズムでは、四つのポイントが遵守されます。

- ① 地域住民の利益
- ② 自然資源の持続的管理
- ③ 旅行者・住民の環境教育
- ④ 環境・地域・文化に対する負担を最小限にする

このような条件がエコツーリズムの基本的な考え方です。

我がみなかみ町も『水と森・歴史と文化を築く利根川源流の町・みなかみ』として、エコ活動に参加しています。

国際的にもこういった考えが加速する中、環境行政と観光行政はもはや切り離せない関係にあると考えます。今後の組織の取り組みについてお伺いいたします。

答 **町長** 今後、物事の進展・変化に合わせて、組織の見直しを柔軟にやっていきたいと思っていますが、一定の規模で括っていくという行政組織上の問題もありますが、時代に適合した形で、また事業ごとに必

要なことは、課ごとに横断的な調整が十分できるような行政運営を心がけてやっていきたい。

問 事業に対して、ブレない一つ芯の通った方向性で対応して「たらい回し」はしないでください。

答 **町長** 新しい取り組みだと「たらい回し」的になるといことは非常に問題であると思います。

例で挙げられた一ノ倉の関係は観光商工課が所管ですが、今年度環境課ができたので、窓口業務を環境課にやっていただく形をとりました。
今後とも意識して進めていきたいと思っています。

鈴木 勲 議員



駆除した害獣の処分 アメニテイでできないか

町長 臭気の問題があり適切ではない

問 当町で野生動物の被害が増大しています。特にイノシシの被害は

ます。

深刻です。捕獲許可を得て捕獲するのが町内で約一五〇頭です。イノシシ・猿・熊・鹿

の捕獲後の処分に困っています。猟友会の中に沼田の仲間があり、沼田で焼却処理を行っています。が、アメニティブークで処理できないでしょうか。

答 町長 鳥獣害対策については、猟友会の皆様に大変お世話になっております。

ご指摘の動物の処分ですが、臭気が発生することから、アメニティブーク処理形態から言って不適当と思われる。

問 県では鳥獣害対策費として四億五千万円計上しています。

焼却施設は設置場所が決定すれば町で取り組んでもらえるのでしょうか。

答 町長 猟友会の方々の要望があり、適切な場所があることになれば、運営費の問題を含め本格的に検討したい。



上：イノシシの被害にあった水田
下：道路沿いに電柵が設置されている
(矢印部分の線に電気を流している)



■道路整備 交差点改良で利便性向上を



上毛高原駅前にあるT字路

問 観光と農業を発展させるためには、まず道路が良くなることです。

国道二九一号線上毛高原駅前T字路を上組公民館に向けて交差点を設置して、利便性を図ってはどうか。

答 町長 観光に対して、道路はまさに重要な役割を果たしています。上毛高原駅前二九一号の交差点改良については、具体的に県都市計画課が事務局となり、上毛高原

駅前広場周辺活性化検討会が設置され、駅前広場を中心とした利便性の向上、地域振興、快適な環境の整備の中で進めている状況です。

問 上毛高原駅の駅名の変更はできますか。

答 町長 新幹線が青森まで伸びたときなど、全国のシステムを変えるときに直すことができる場合はあるようです。

前田
善成 議員



害獣駆除のための 仕組みづくりを

町長 対策センター主に現行組織の活用で



害獣捕獲のための檻

問 有害鳥獣駆除のための新しい組織と施設づくりに取り組む考えは。

答 **町長** 有害鳥獣駆除には、猟友会の協力が不可欠であり、獣害対策センターを設置し、活用していきたい。防護柵などの設置については委託で整備できるものもあり、若干なりともその地域の雇用になります。研究施設の設置は、遊休施設の活用等を踏まえ、設備や大学教授の人件費を含め研究してみたい。

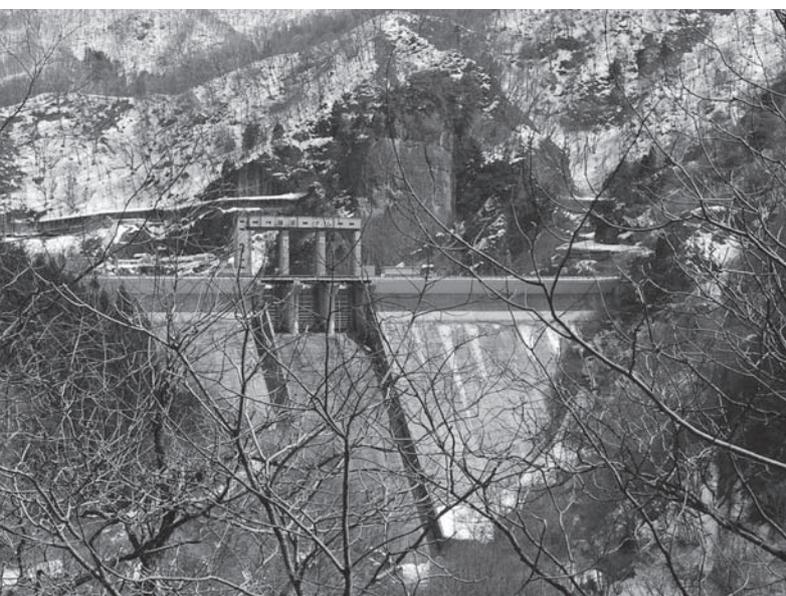
■地域特性を活かした産業創生
耐震性と情報網を軸に売り込んで

問 地震に強いみなかみ町の特性を活かし、またダム的高速回線情報網を活用するバックアップ基地誘致について。

JR水上駅周辺にセンター基地を整備したり、町の耐震性と高速回線の優位性を立証しPRすること、また地盤の強い水上支所より上流に企業誘致を行う考えは。

答 **町長** 地盤がしっかりしていて情報網も整備されているという二つをセットにして企業誘致などに働きかけるという、新しい切り口の進め方を勉強したい。

水上駅周辺だけでなく、幸知小跡地など町全域についても検討したい。



防災情報で使用するため高速回線が敷設されている（藤原ダム）

視察報告

報告： 委員長 林 喜美雄 12/20

・自然とつながる暮らし方 ・原子力施設の災害対策

柏崎市（新潟県）



木材ペレット燃料によるストーブ

研修風景



自転車による発電の体験



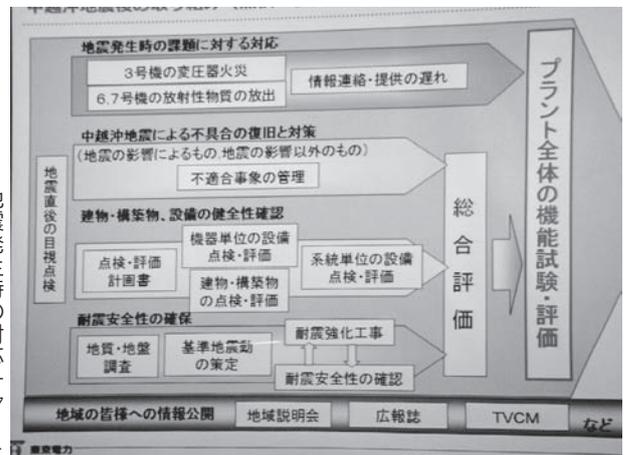
四二〇万㎡（東京ドーム九十個分）の敷地内に七基が建設され、合計出力は八二一キロワットで、世界最大の発電所です。

◆原子力施設の災害対策

刈羽原子力発電所

中越沖地震における不具合は確認されましたので耐震強化工事を行い、排気筒・建屋の屋根・天井クレーン・配管サポートの強化等々、垣間見ることができました。

地震発生時の対応チャート



サービスホールにて説明を受ける

◆自然とつながる暮らし方 夢の森公園

広さ三〇ヘクタールの敷地に里山エリア、東と西に丘のエリア、原っぱエリア、水辺エリアに、各体験施設を配置。資金は十八億二千万円の基金を元に運営計画を立てているとのこと。

議会の動き

*平成23年2月～平成23年4月

※議会議員および議長が出席した行事

2月	2(水) 民生委員・児童委員臨時総会
	4(金) 利根沼田高等学校のあり方に関する懇談会
	7(月) 後期高齢者広域連合事務打合せ
	8(火) 議員会視察研修(～10、三重・岐阜・愛知) 故小寺前知事県民葬 文化協会新年会
	14(月) 利根沼田地域県政懇談会
	15(火) 後期高齢者広域連合定例会 郡定例議長会 学校組合議会
	18(金) 老連月夜野支部芸能大会
	19(土) 愛のチャリティ芸能大会
	20(日) 中学校新人スキー大会(～21、宝台樹スキー場)
	21(月) 県議長会定期総会
	22(火) 議会運営委員会 全員協議会(予算説明会) 広域圏議会定例会 学校組合議会
	23(水) 横浜検疫所視察
	26(土) 体育指導委員会全国表彰祝賀会

3月	1(火) 利根商業高等学校卒業式
	2(水) 議会運営委員会 3月定例議会(開会日)
	3(木) 3月定例議会(一般質問日) 議会全員協議会・常任委員会(連合審査会)
	4(金) 3月定例議会常任委員会(連合審査会)
	7(月) 3月定例議会(常任委員会)

3月	8(火) 3月定例議会(常任委員会)
	9(水) 谷川岳交通対策連絡協議会
	10(木) 3月定例議会(閉会日)
	11(金) 町内中学校卒業式
	16(水) 議会全員協議会
	18(金) わかくり子ども園卒園式
	22(火) にいはる子ども園・月夜野北幼稚園卒園式
	23(水) 月夜野幼稚園・下牧分園卒園式
	24(木) 町内小学校卒業式
	25(金) 幸知小学校閉校式 第3保育園卒園式
26(土) 月夜野保育園卒園式	
31(木) 教職員離任式	

4月	4(月) 第3保育園入園式
	5(火) 県町村議会議長会理事会 月夜野保育園入園式
	7(木) 町内小学校・中学校入学式
	8(金) にいはる子ども園・月夜野北幼稚園入園式
	9(土) わかくり子ども園入園式
	11(月) 月夜野幼稚園・下牧分園入園式 議会だより編集特別委員会
	13(水) 広域圏定例議員協議会
	18(月) 議会だより編集特別委員会
	19(火) 議会全員協議会
	27(水) 議会運営委員会 4月臨時議会
28(木) 県町村議会議長会事務連絡会議	

訂正とお詫び

議会だより第22号14ページ『中国国際学院スキー研修会』において、写真下2枚の説明『(長寿庵、左右とも)』とあるのは『(豊楽館、左右とも)』の誤りでした。訂正してお詫び申し上げます。

議会を傍聴してみませんか？

—お問い合わせは— 議会事務局まで
☎25-5023(直通)



議会だより編集委員会

- ◆委員長 鈴木 勲
- ◆副委員長 阿部 賢一
- ◆委員 小林 洋
内海 敏久
中島 信義
林 一彦



(事務局員)
本間 泉

四月一日付の人事異動で、議会事務局員が変わりました。新しい事務局員は次のとおりです。よろしくお願いたします。

人事異動

蛭の里、復活を

目指して

猿ヶ京ホテルの会 代表 松田 大介（猿ヶ京）



蛭を地元で復活させようという試みが以前から行われていた場所があったが、諸事情により活動していた団体が撤退。保護池や餌となるカワニナの養殖施設が数年間放置されていたため、帰郷した同級生友人四人と信頼ある先輩を引き込み、地元の協力を得て再開した。五人の当初の動機としては、観光地であり自然が豊富なこの地で蛭を復活させ、純粋に観光客に楽しんでもらえればとの思いであった。活動としては、まず荒れ果てた施設の整備・改良が主であったが、メンバーに建築業と設備業を営む者がいたため、仕事の合間を利用して効率よく整備を進めた。他メンバーにおいても自己所有の草刈機他を活用し、定期的な草刈や池整備を行い、蛭及びカワニナの生息しやすい場所を目指した。

学時の騒音問題（見学者が増大した場合）等が懸念され、将来的な長いスパンで考え代替地を求めた。明かりが無く人家も無い・水が豊富な場所等厳しい条件が理想であったために、場所の選定には時間を要した。

出しながら泥まみれになり楽しみながら草刈・倒木・除根・水路整備等開拓している途中である。用地拡大に伴い、蛭に留まらずトンボ・ドジョウ・昆虫・沢蟹等が復活できる環境作りを目指す事となった。当初の動機である「純粋に楽しんでもらえる環境」を作り、流行の人工的なビオトープでは出せない本来の自然を復活させるのが目的。国土交通省も活動を理解協力していただき、親水公園内に蛭生息用の小川の整備を進めている。設計・構想に關しては、メンバー及び蛭の有識者の意見を取り入れ、町の協力により施工に反映させている。



池の水温測定・気温測定・カワニナ施設の水質管理を毎日交代で実行、カワニナの繁殖に成功し、幼虫の上陸確認（上陸数確認）も每晚実行した。結果として、昔から生息している平家蛭・源氏蛭・クロマド蛭等成虫の発生を確認し、保護活動の成果がみられた。蛭発生時には個体数測定を

每晚行う中、都市部より合宿等で来町していた子供達へ蛭の見学ツアーを開催し、蛭・自然・水について学んでもらった。順調な成果が見られた復活活動ではあったのだが、街路灯の明かりの問題（蛭に悪影響）や蛭見



（右）ホテルの会の皆さん
（左）緑生い茂る石積み沢

カワニナの養殖場の無い現在各メンバーの家でカワニナを水槽飼育し、蛭の餌の確保をしているが、試行錯誤の連続である。



三月の定例議会も終わり、平成二十三年度当初予算を原案通り可決いたしました。

その矢先、三月十一日に未曾有の東日本大震災が発生し、東北地方をはじめ関東に至る広い範囲で多数の犠牲者が出ております。この場をかりて犠牲者のご冥福をお祈り申し上げると共に、被災された方々にお見舞い申し上げます。

また、福島原子力発電所では放射能漏れが発生し、大きな社会問題となつております。みなかみ町ではいち早く町長の判断で被災者の受け入れを表明、議会も緊急の協議会を開催し、この案を全員一致で承認しました。

このような災害を前に、行政や議会が速やかに判断し行動した事に町民の皆様のご理解をお願いしたいと存じます。

中島信義